

わがまちまごめ

発行委員会 大田馬込地区推進委員会
事務局 馬込特別出張所
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5
☎(3774) 3301 (代)



三月まで活用していましたが、四月から十一月まで使用中止とのこと。冬場はさすがに少ないので、えさにつられたカラスをたくさん捕獲することができ、

本門寺公園の広いグラウンドの右横に、「大田区池上公園管理事務所」があります。取材の折に、丁度管理事務所の職員の方たちの手で、つじや雪柳の枝の手入れをしているところでした。管理事務所では、デイキャンプ場・グラウンド・弁天池・子ども広場等の管理。また隣接している池上梅園の和室・茶室の受付け、犬・猫の苦情の受付け等、さまざまなことに対応しています。管理事務所の前を、グラウンド沿いに右へ行き、ゴミ置場手前の階段を右へ登ると正面の上の方に、テレビや新聞で見たことのあるネットがかけられた大きな木の箱が目に入ってきました。これは、昨年東京都が、カラスへの「緊急対策」として設置した、カラスを捕獲するためのトラップ(木製おり)で、都立公園などに百基設置された内の一基です。

前回は、桜並木から佐伯栄養学校―太田神社―長勝寺と歩き、本門寺公園までを案内しました。今回はその先へと進み、広い本門寺公園をゆっくりと歩いて、この春修復工事の終わった本門寺五重塔まで、足を伸ばしてみることにしました。

本門寺公園

馬込からの

散歩道

その七

四月から十一月までは子育て時期で、ねぐらを離れ、えさ場が近くの住宅地へと移ります。数もかなり減るので、効率を考えて、捕獲時期を決めています。が、管理事務所としては、都とは別に、カラスが増えすぎぬように、作られた巣をその都度排除しているそうです。木々の中にボンと取り残されたように置かれているトラップを左上に見ながら、さらに右へと階段を登って行くと、右下に弁天池、子ども広場が見えます。子ども広場では、母親に連れられた幼児の遊んでいる姿が見られます。池には、ヘラブリコい・小エビ・かめの生息が確認され、毎日十数人の常連者が釣りを楽しんでいるそうです。また釣った魚は池に戻し、持ち帰ることはできません。



さらに左手に登って行くと、平らな空間が広がります。ベンチがあるので汗を拭き、鳥の声を聞きながらひと休み。ひと息入れたら、ベンチを後にして、桜・櫻の生い茂った平らな道を進み、左手階段を下りて行くとキャンプ場です。水道一か所、かまど二、石でできた大きなテイクールとイスが二か所。ベンチが二か所と設備もととのっています。キャンプ場を後にして、平らな道を右へと歩いて行くと、左先に藤棚のある広場があります。広場にはベンチが七台も置かれていますので、ここのんびりと目の前に広がっているグラウンドを眺めながら過ごすこともできます。この広場は、入ってきた管理事務所側から見ると丁度藤棚の広場を背にして階段を登って行くと、左に大きな樟、右手奥には、太い根を這わせた大きな花みずきの木を見ることができます。さらに階段を登って行くと、「東京市本門寺公園入口」の立て札のかけられた「本来の公園入口」が見えて来ます。人口の前のお墓の先には、今年三月に大規模な解体修理が完成されたばかりの本門寺五重塔がそびえ立っています。なお、当分の間、日没から午後十時まで、五重塔がライトアップされています。また五重塔の右先には、有名な力道山のお墓もあります。五重塔については、次号(46号)で詳しくご紹介いたします。



まごめ 文芸

俳句

足濡るる儘に行きけり露の道

清子

夏やせと言葉に隠すみだれ髪

智恵子

その奥の金色堂へ野菊みち

苑子

白鳥の飛来の便り季の移り

喜久

際立たぬ麦藁とんぼ粗朶のへり

南馬込 森岡 達吾

短歌

流れゆく霧の晴れ間に一瞬の

水の青さの輝く摩周湖

矢島 克子

紅美姿描きて便り書く朝の

ひととき吾のこころ弾めり

篠原 信子

鈴虫のさえた音色に耳すまし

世の中のみだれし忘れ

田代ハル子

食材に触れて初めて謎が解け

腕が鳴る鳴る男の料理

空手董礼儀正しい挨拶で

大人の背中思わずピンと

文化センターの片隅より

川柳

課題「遺伝」

川柳遊芳会

近江あきら

○さりげない仕種の中に親ゆずり

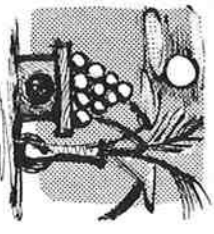
○遺伝子をどう違えたか鷹を生む

○お互いに子供の長所わたりしよ

○旅の宿あいつの軒遺伝かな

○酒呑みの家系ではしや花見宴

○狐尾探しDNAが神頼み



この「わがまちまごめ」は古紙配合率70%の再生紙を使用しています。

その後①

梅田小学校

学校紹介 その四

梅田小学校は、馬込唯一終戦後にできた小学校で、広い敷地に児童数千名を極す頃もありました。現在は新入生一四三名を入れ七四五名、敷地内には幼稚園もある小学校です。校舎は正門のある西側に、団地のように並んで建ち、それを廊下つないでいます。校庭は広々として三方が道路に面し、周囲には校庭を取り囲むように多種の植物が育っています。

高橋明嗣校長先生は梅田小学校へ来られて三年目。「私は無口ですから」というのが口ぐせの、真面目でユニークな、そして親しみやすい校長先生です。お忙しい中を、校内くまなく案内してくださいました。

びっけりしたこと

○どの教室も、戸が全部開いてい
ること(教員室も校長室も)
○先生も児童も、全員がよくあい
さつをしてくれること。

○給食が民間委託(12年度から)さ
れている。業者が、学校の給食室
で作ってくれる。(区で12校実施)

○外国籍の子女が数名入っている
こと。母親が外国人の場合、子ども
もほとんど日本語が話せないの
で通訳つきのこと。教育相談室

で一对一でひらがな等をならべて
いた。(通訳は大田区から派遣)

○校長先生の
人気が非常に
高いこと。休
み時間になる
と、わ1つと
集まり、話し
かけタツチす
る。みんなの
お父さんとい
うより、アイ
ドルというか
仲間といった
ところ……。



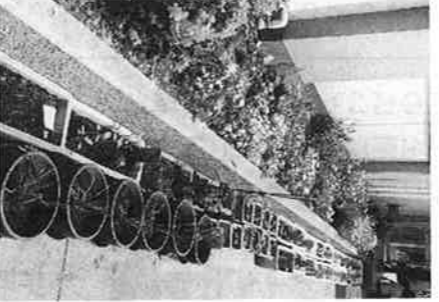
びっけりしたこと

○体育館は校舎から廊下で行ける
小高い丘の上であり、校庭からは
がけの階段を上って行けますが、
その植え込みの木々がすっかり成
長して『馬込の散歩道』として紹介
したいようなたすまい。

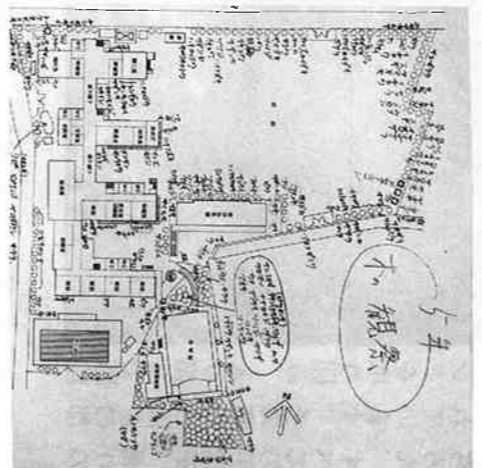
その先にアールがあります。
自然とのふれあい——
梅田小で最も力を入れている方
針で、各学年ごとに行われている。
○植物栽培(2年生中心)ナスや豆
などの野菜を植木鉢で一人一鉢、
で通訳つきのこと。教育相談室

だいじに育て記録する。

○校長先生の
人気が非常に
高いこと。休
み時間になる
と、わ1つと
集まり、話し
かけタツチす
る。みんなの
お父さんとい
うより、アイ
ドルというか
仲間といった
ところ……。



梅田小の樹木



路には金魚・メダカ・オタマジャク
シ。教員室前の水槽にも、メダカ
等の他にカメやヤゴも生息。校庭
に面した動物小屋には、ウサギ・モ
ルモット・アヒル・カメも飼育され、
子どもたちが観察すると共に、き
れいに清掃をつけている。

——新聞作り—— 1年生の時か
ら、簡単な新聞作りをはじめ、4
年生からコンピュータで編集。
デジタルカメラで写真を入れたり、
本格的な新聞を発表している。

休みに校庭でおお騒ぎ
○わくわく遊びⅡ隔週火曜日な
か
5校時。プロクムごとに、企画は5
6年生。寺子屋。遠足遊びその他。

——児童の自主性——
○学校周りのクリーン作戦。
○一年生を迎える会の企画から、
お世話までを自主的に。

——園児・児童絵画展—— 馬込西
公園の一角に、月替わりで展示。
校内くまなく案内され、お話を
聞くうちに、日本の将来に光がさ
したような気がして来ました。

馬込情報

◎自治会・町会永年在職者感謝状
7/馬込各地区の24名に区長から感
謝状が贈られ、編集委員も一名、
連合会長から表彰されました。

◎第七回馬込大盆踊り大会
7/20、7/21馬三小校庭。毎年多数の参
加者あり、踊りや模擬店で大盛況

◎馬込八幡神社の例大祭
7/1(土)7/8(日)各地区の神社や町会・商
店会等で催し物が多数あり。

◎熊谷恒子記念館 7/2~12/23
「かなが奏でる近代文学の世界」
◎龍子記念館 7/2~7/15
「多彩な龍子名作展」

◎郷土博物館 10/7~12/1 特別展
「版画にみる東京の風景」
関東大震災から戦前まで

◎第19回区民スポーツまつり(10/4月)
区内20か所の会場分散型。

◎南馬込文化センターまつり(10/26/27)
展示会・模擬店・発表等

◎5町会合同防災訓練
10月27日 8時50分1馬二小
児童の自主性——

◎青少年行事(12/2土幸掘り)(有料)
◎馬込子まつり会(第一回)5/26に
北馬込の宗福寺で開催しました。

本紙18号で紹介した登志子地藏
をシボルに、地域で子どもたち
を見守って行こうと発足した会。
池上警察の交通安全の紙芝居。N
HKでも活躍されている手話キヤ

スターの丸山浩路氏の講演。座禪・
写経・茶道・餅つき等の体験。馬
込産小松菜を始めとする模擬店等

までにもソフトボール大会のよう
な親子で楽しむ企画も予定中。

◎松原橋交差点大気浄化実験施設
松原ランプ(国道1号上り線側)

内スペースに、環七の汚れた空気
を取り入れ、化学的に処理したあ
と、植物で緑化された土壌床(浄
化する土)を通過し、一日に東京
ホーム二杯分の大気を浄化する美
験施設の工事が進行中。浄化され
た空気の一部が環七を渡り、地下

鉄馬込駅出入口附近に排出されま
す。施設は、監視室を除き地下に
でき、12月には完成の予定。実験
の結果が良いといひすね。

◎地域情報誌「わがまちまごめ」
は、この9月1日発行の45号で12
年目になりました。「わがまちま
ごめ」を片手に散歩道を歩く姿を
見かけるなど、少しずつ皆さんに
読んでいただけるようになり編集
委員一同喜んでおります。内容に
ついてのご意見やご希望がありま

したら遠慮なくお聞かせください。
この6月の一か月は、W杯サッ
カーの熱気で包まれた一か月でし
た。特に日本が決勝トーナメント
進出を決めた対チヌニア戦の時
間帯には、お店等は人影も少なく
得点シートの時には各家々から喚
声が聞こえる程でした。日本はベ

スト16に、韓国はベスト4にも入
り、開催国の責務を果たしました。

この「わがまちまごめ」は古紙配合率70%の再生紙を使用しています。

この「わがまちまごめ」は古紙配合率70%の再生紙を使用しています。

この「わがまちまごめ」は古紙配合率70%の再生紙を使用しています。